

仕様書

新エネルギー部

1. 件名

NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／
「環境と共生する新産業創出に向けた人材育成講座－微細藻類を基点に－」
に係る特別講座

2. 目的

人類および他の生物が生存できる持続可能な環境の整備が喫緊の課題となる中、生物の力を活用しながら、かつ生物圏に負荷をかけない共生型の新産業が求められており、その一つとして、燃料やマテリアル原料、機能性栄養食品等、あらゆる用途に期待される微細藻類の利活用が検討されている。

微細藻類の導入にあたっては、気候や各種条件に適した微細藻類の選定や適切な培養方法の選択、経済的に成立しうる大規模な商業生産と用途探索に取り組む必要がある。これらの課題に対しては、学術機関や企業が単独で解決するものではなく、産学で連携し、微細藻関連の業界を挙げて取り組むことが重要である。

本事業では、微細藻類を基点とした環境と共生する新産業創出を担う人材を育成するため、企業・大学等の技術者、研究者、学生を主な対象として、専門家による講義・ワークショップ、国内外の研究現場での意見交換、ネットワーク構築等を行う。

3. 内容と目標

上記目的に資する以下の項目を実施する。

(1)人材育成の講座の実施

講座を通して、科学リテラシーやビジネスモデル構想力をもつ人材を育成することを目的とし、以下内容に取り組む。

(1)-1.内容

- ・多様な分野の専門家による講義に加えて、複数業界の企業や団体等の具体的な研究・事業化の事例紹介や課題の共有を行う機会を設ける。
- ・講義内容等を踏まえ、微細藻類を基点とした新規産業創出における課題や解決手法な

どについてグループワークでのディスカッションを行う。

- ・微細藻類を培養し抽出操作を行うなど、ハンズオンで学べる機会を設ける。
- ・事業期間中に複数回のレポート提出等を通じて受講者の履修状況や履修内容の活用方法について確認する。
- ・講座内容を踏まえ、新産業創出のアイデアを検討しシンポジウム等の場で発表を行う機会を設ける。

(1)-2.目標

- ・講義を 15 回以上実施する。
- ・微細藻類を基点とした新産業創出の提案事例を 2 件以上策定し、最終成果報告書に記載する。

(2)人的交流等の展開

産学での人的交流を通じて、異分野・異業種など異なるバックグラウンドを持つ人とのネットワーク構築に向けて、以下内容に取り組む。

(2)-1.内容

- ・国内及び海外での微細藻類研究・実証藻類拠点での現場見学を行い、訪問先企業・団体とのネットワーク構築の機会を設ける。
- ・受講者と微細藻類関連事業を行う企業や大学の技術者・研究者等とのマッチングや意見交換の機会を設ける。さらに、事業終了後も企業人・研究者・技術者間の人的交流の継続に向けた方策を検討する。

(2)-2.目標

- ・国内または海外の微細藻類研究・実証拠点 2 箇所以上で見学・意見交換を実施する。
- ・事業期間中に受講者や協力企業等が交流できる機会を 2 回以上設ける。

5. 調査期間

NEDOが指定する日から 2026 年 3 月 31 日まで

6. 予算額

1 年目	NEDOが指定する日～2025 年 3 月	2,815 万円以内／年度
2 年目(※)	2025 年 4 月～2026 年 3 月	4,100 万円程度／年度

(※)2 年日以降の予算は、変動の可能性あり。

7. 報告書

2024 年度末には中間年報の電子ファイル（PDF ファイル形式）を、2025 年度終了後には成果報告書の電子ファイル（PDF ファイル形式）を所定の期日までに提出すること。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

8. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、N E D O 技術委員会又は成果報告会において報告を依頼することがある。

以上